

## 市長施政方針



松原市長  
澤井 宏文

市民の皆様からご信託をいただき、昨年6月に3期目の市政をスタートしてから9カ月が過ぎようとしています。

平成29年5月の市長選挙において、市民の皆様とお約束しました『働きながら、子育てしやすいまち まつばら』『躍動するまち まつばら』『安心・安全、快適なまち まつばら』『徹底した経営改革のまち まつばら』の4つのまちづくりを着実に推し進めているところです。

サードステージも「さらなる前進」をスローガンに、本市の未来のために、市民の皆様との協働により、全ての世代の方々に愛着を持っていただける魅力あるまちづくりを推進し、誰もが「住んでみたい、住んでよかった、住み続けたい」と思っていただけ、日本一のまち・まつばらを実現できるよう、本市の発展に全力を尽くしてまいります。



## 松原市の予算を「家計」に例えると？

平成30年度の一般会計当初予算を、10万分の1の家計に置き換えてみました。  
(なお、端数処理上、調整している項目があります)

### 松原さんちの家計簿 (対前月増減)

収入		支出	
給料(市税)	141,780円 (+3,400円)	食費(人件費)	75,580円 (▲860円)
パート収入(使用料及び手数料など)	13,080円 (+310円)	医療費(扶助費)	153,870円 (+2,690円)
親からの仕送り(国庫支出金・地方交付税・府支出金など)	237,440円 (▲3,380円)	ローンの返済(公債費)	48,730円 (+640円)
不動産の売却益など(財産収入)	2,830円 (▲2,650円)	光熱水費など雑費(物件費)	51,310円 (▲1,330円)
貯金の取崩し(繰入金)	6,820円 (▲5,550円)	子どもへの仕送り(繰出金)	64,950円 (+630円)
ローンの借入(市債)	48,050円 (+16,170円)	家の建築・改修、車の購入(投資的経費)	30,220円 (+15,250円)
		その他(補助費等、積立金など)	25,340円 (▲8,720円)
合計	450,000円 (+8,300円)	合計	450,000円 (+8,300円)

支出(歳出)の分類方法はさまざまなものがあります。民生費、土木費、教育費など行政目的に応じた分類に対し、ここでは経済的性質に着目して支出を分類しています。

- 人件費…市役所で働く職員に対し支払われる給料など
- 扶助費…高齢者や障害者、子育て世帯などの生活をサポートするためのお金
- 公債費…市のローン返済にかかるお金
- 物件費…光熱水費、文具などの購入費、事務機器のリース代など
- 繰出金…一般会計から特別会計に対して支払うお金
- 投資的経費…公共施設の整備費や自動車など高額な備品の購入にかかるお金

今月の収入は給料(市税)が増え、親からの仕送り(国庫支出金等)や貯金の取崩し(繰入金)が減りました。また、家の建築のため、ローンの借入(市債)が増えました。

支出では臨時的なその他の支払い(補助費等)が減り、家の建築費(投資的経費)が増えました。また、家族の医療費(扶助費)が引き続き伸びています。

	先月	今月
貯金残高	9,100円	→ 13,700円(+4,600円)
ローン残高	226,600円	→ 226,900円(+300円)

貯金とローンの残高は先月と比べ、それぞれ増える見込みです。  
※ローン残高は将来の実質的な負担額で表示しています。

## まちづくりの

# 5つの基本目標

松原市をより発展させ、活気にあふれる魅力あるまちを目指していくため、第4次総合計画に掲げる5つの基本目標に従い、各施策を推進します。

4・5ページで、その主な事業を紹介します。

- 安心して住み続けることができるまちづくり**
  - WHOセーフコミュニティの再認証
  - 災害に強いまちづくり
  - 消防力のさらなる強化
  - 駅のバリアフリー化の推進
  - きれいなまちづくりに向けて
- 市民誰もが健やかに暮らせる和らぎのまちづくり**
  - 疾病予防・健診の充実
  - 医療・介護の切れ目のない支援体制
  - 障害のある人への支援
- 未来を拓く自立心を育む人づくり**
  - 通年における待機児童の解消
- 便利なまち、元気で活力あふれるまちづくり**
  - 国際感覚豊かな人財の育成
  - ひと・まち・まつばらを育む拠点
  - 観光誘客の促進
  - 商店街の活性化
  - 新たなまちづくりへの支援
- 市民と行政の協働によるまちづくり**
  - 将来都市像を目指す指針
  - 松原市の魅力を発信

平成  
30年度

# 松原市の予算

市の予算について、詳しく解説するでっ！



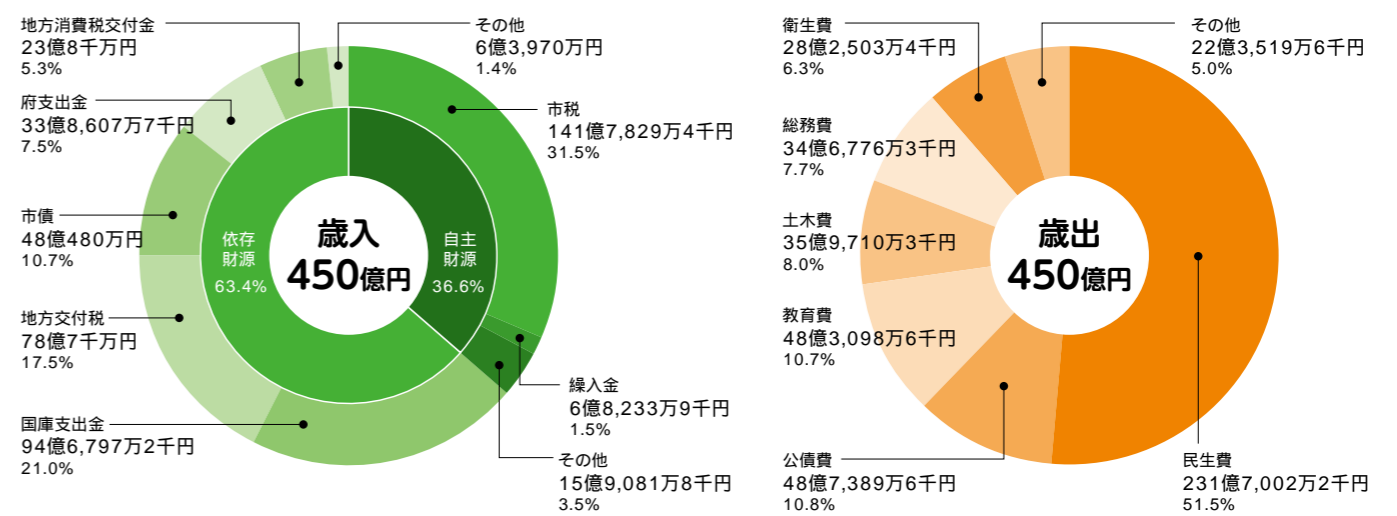
松原市マスコットキャラクター  
まつばら

平成30年度の予算が市議会で可決されました。一般会計、特別会計および企業会計予算の総額は847億7,895万8千円で、前年度と比較すると27億3,395万7千円(▲3.1%)の減少となります。

住んでよかったと思える松原市を将来世代へ引き継ぎ、松原市を「もっと先に、さらに前へ」進め、日本一のまちを目指す予算を編成しました。今回の特集では、平成30年度予算の様子について紹介します。

▶問合せ 財政課 (☎334-1550 代表)

## 歳入・歳出の内訳(一般会計)



主な歳入について、市民の皆さんが納付される市税が約141億8千万円と約3割を占め、次いで、国庫支出金が約94億7千万円と約2割、地方交付税が約78億7千万円と約2割弱を占めています。

主な歳出については、高齢者や子育て家庭、障害のある人への助成といった社会保障経費の伸びなど、民生費が約231億7千万円と歳出予算総額の約5割を占めているほか、新図書館の建設費などにより、教育費が大きく伸びています。

## 各会計の内訳

**特別会計**  
予算額 **364億4,025万8千円**  
特別会計とは、特定の事業を行うために設ける会計です。

※表中の財産区会計の予算額は、8財産区会計の合計です。

	30年度予算額	増減率(%)
国民健康保険会計	155億5,074万5千円	▲21.7
下水道事業会計	64億4,500万円	▲1.0
財産区会計	15億4,210万8千円	52.3
介護保険会計	112億2,441万4千円	2.2
後期高齢者医療会計	16億7,799万1千円	4.7
合計	<b>364億4,025万8千円</b>	<b>▲8.8</b>

**企業会計**  
予算額 **33億3,870万円**  
企業会計とは、特定の事業をその事業収入で経営する会計のことで。

	30年度予算額	増減率(%)
水道事業会計	33億3,870万円	▲0.9

